

「災害に強く、安全でやすらぎのある生活」確保のための6つの方針

基本方針

- ・水害をはじめ、近年激甚化する災害時においても機能を維持し、市民を守り支える計画とします。
- ・迅速な消防活動はもとより、市民の防災意識醸成の拠点として、地域を見守る計画とします。



機動性

明快なゾーニングやシンプルな動線計画により、効率的な活動が可能な消防署とします。

柔軟性

水害をはじめとする災害時にも機能維持を図り、災害からの迅速な復旧も可能な消防署とします。

快適性

快適な環境づくりにより、緊急時に向けて万全な体制を整えることができる消防署とします。

経済性

コンパクトで合理的な施設とし、無駄をつくらない経済的な消防署とします。

安全性

万が一にも事故が無いような計画とし、周辺地域とも共存した消防署とします。

象徴性

消防訓練や活動が日常的に市民の目に触れ、地域が守られている安心感を得られる消防署とします。

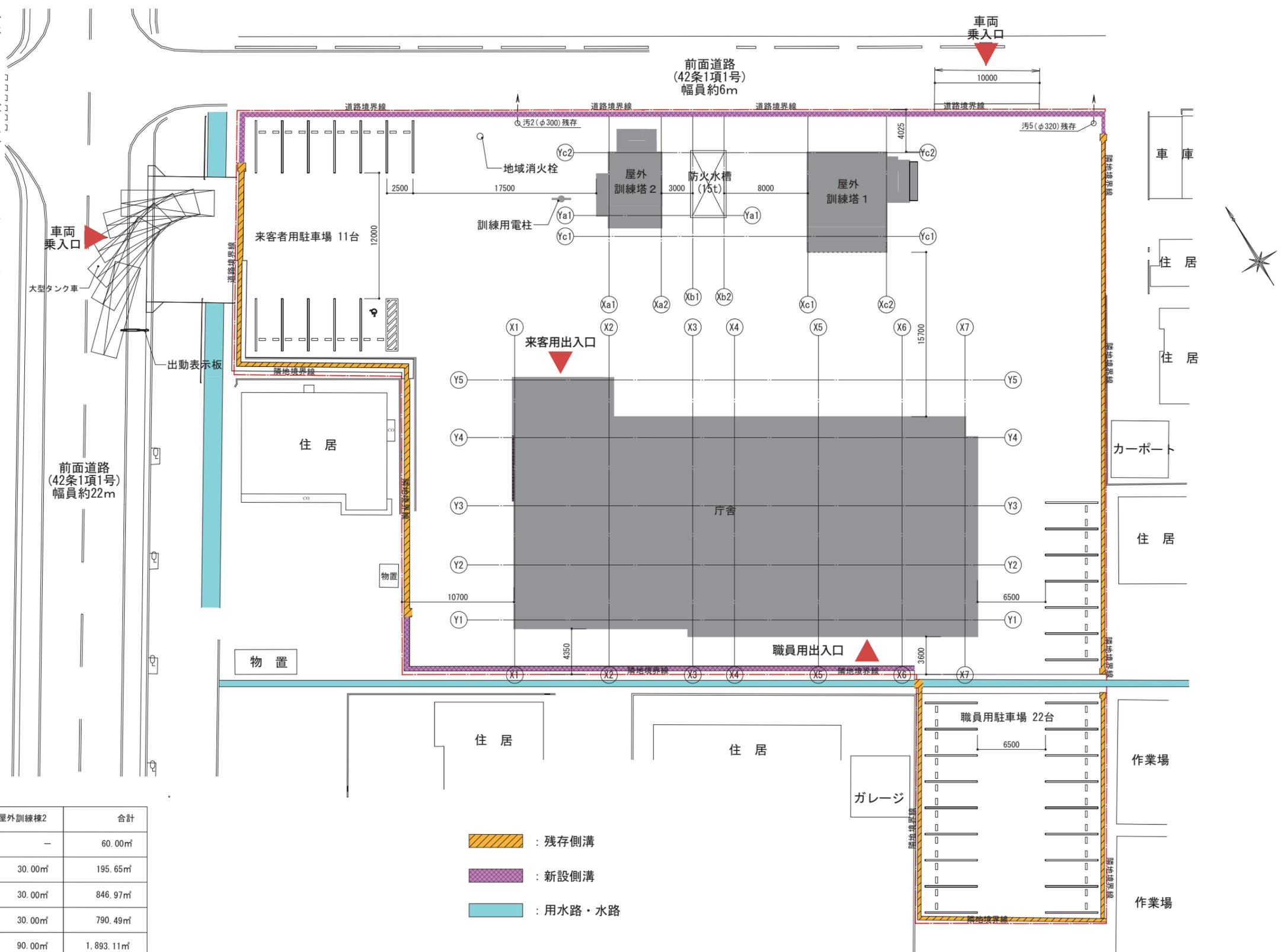
計画建物の概要

主要用途	用途区分記号 (08330) 消防署
構造	鉄筋コンクリート造
主要構造部	耐火構造
敷地面積	4,414.00 m ²
棟数	3棟
駐車台数	利用者用：11台
	職員用：22台
	緊急車両：7台

建築物の名称	庁舎棟	屋外訓練棟 1	屋外訓練棟 2	
用途区分記号	(08330) 消防署	(08330) 消防署	(08330) 消防署	
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	
耐火区分	耐火建築物	その他	その他	
階数	地上3階	地上3階	地上3階	
				合計
PH階床面積	—	60.00 m ²	—	60.00 m ²
3階床面積	94.40 m ²	71.25 m ²	30.00 m ²	195.65 m ²
2階床面積	799.72 m ²	17.25 m ²	30.00 m ²	846.97 m ²
1階床面積	700.49 m ²	60.00 m ²	30.00 m ²	790.49 m ²
各階合計面積	1,594.61 m ²	208.50 m ²	90.00 m ²	1,893.11 m ²

配置図 (1:400)

- ・平常時は訓練用スペースとして、緊急時は西側市道への出動がスムーズに行えるよう、車庫前に十分なスペースを確保します。
- ・来客の利便性に配慮し、西側市道及び北側市道から近く、分かりやすい位置にエントランスを配置します。
- ・管理性に配慮し来客と職員のエントランスは2つ設け、それぞれに近接した駐車場配置とします。
- ・西側からの風に配慮したエントランス配置とし、風除室を設け冬季間の吹き込み対策とします。



	庁舎棟	屋外訓練棟1	屋外訓練棟2	合計
PH階床面積	-	60.00㎡	-	60.00㎡
3階床面積	94.40㎡	71.25㎡	30.00㎡	195.65㎡
2階床面積	799.72㎡	17.25㎡	30.00㎡	846.97㎡
1階床面積	700.49㎡	60.00㎡	30.00㎡	790.49㎡
各階合計面積	1,594.61㎡	208.50㎡	90.00㎡	1,893.11㎡
基本設計仕様書面積	< 1,614.00㎡	< 240.00㎡	< 100.00㎡	< 1,954.00㎡

- : 残存側溝
- : 新設側溝
- : 用水路・水路

BMH=13.1m

1階平面図 (1:200)

- : 出動エリア
- : 執務エリア
- : 居住エリア
- : 来客エリア
- : 設備エリア
- : 女子専用エリア
- ← : 出動動線

職員動線とは明確に分離しながら、来庁者が迷わない分かりやすい動線計画とします。

ホールは啓発コーナーや休憩スペース、多目的トイレを整備し誰もが使いやすい空間とします。

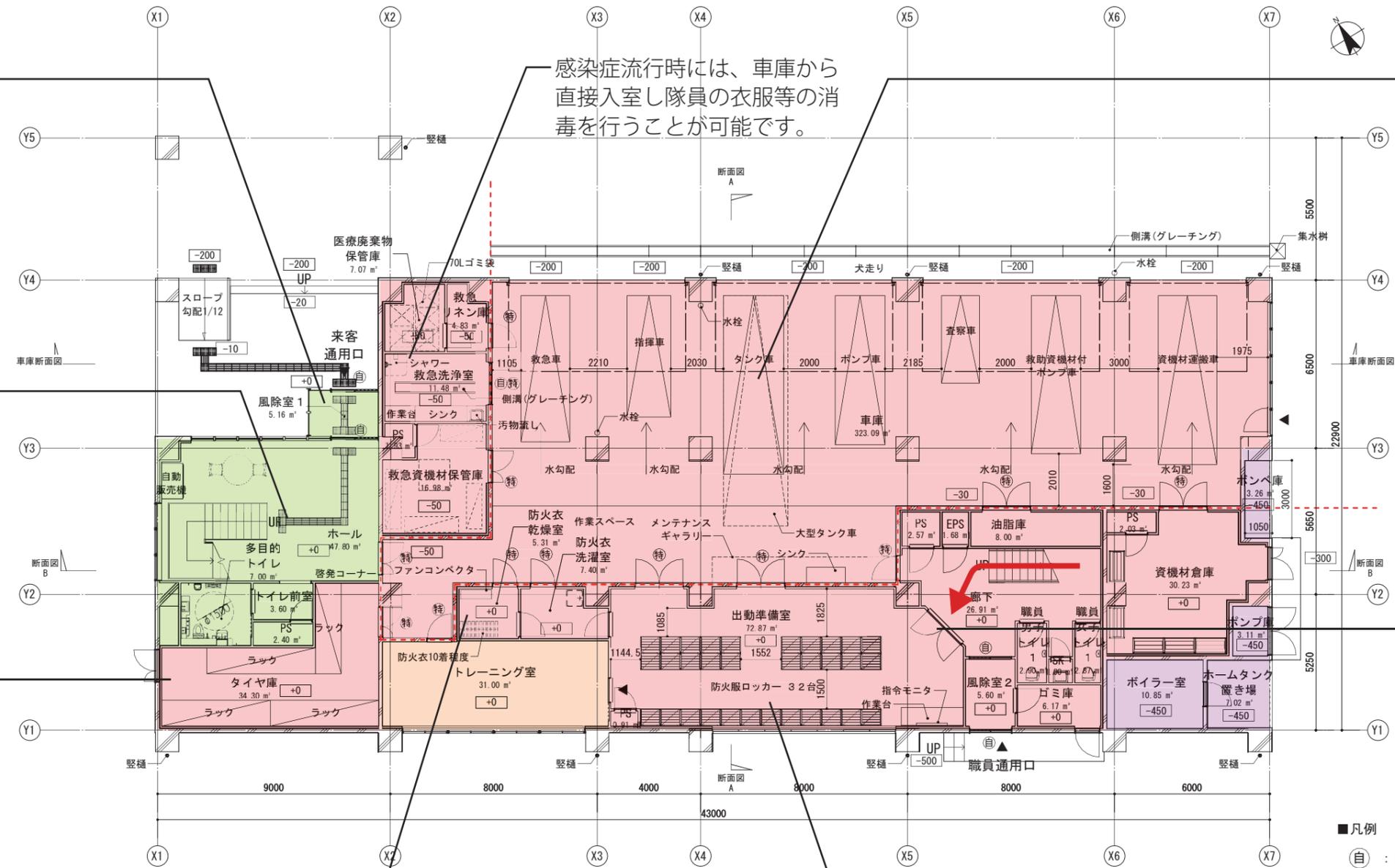
タイヤ庫は利便性を考慮し、車庫と外部それぞれからアクセスが可能です。

防火衣の乾燥効率を考慮し、空間の広さと乾燥方式を決定します。

感染症流行時には、車庫から直接入室し隊員の衣服等の消毒を行うことが可能です。

作業スペースも適宜見込みながら、将来的な大型車両の配置換えも考慮した広さを確保します。

出動準備室への入り口は角度をつけ、その周囲には十分なスペースを確保し、スムーズな出動動線とします。



- 凡例
- ⊕ : 自動ドア
 - ⊕ (特) : 特定防火設備
 - 数値 : FLからのレベル
 - : 異種用途区画ライン

2階平面図 (1:200)

- : 出勤エリア
 : 執務エリア
 : 居住エリア
 : 来客エリア
 : 設備エリア
 ← : 出勤動線
 : 女子専用エリア

研修室は事務室と同じフロアに設け、日常利用時の管理に配慮し、水害時にも継続利用が可能となります。

小上がりスペースを設けるなど、リラックスして利用できる設えとします。

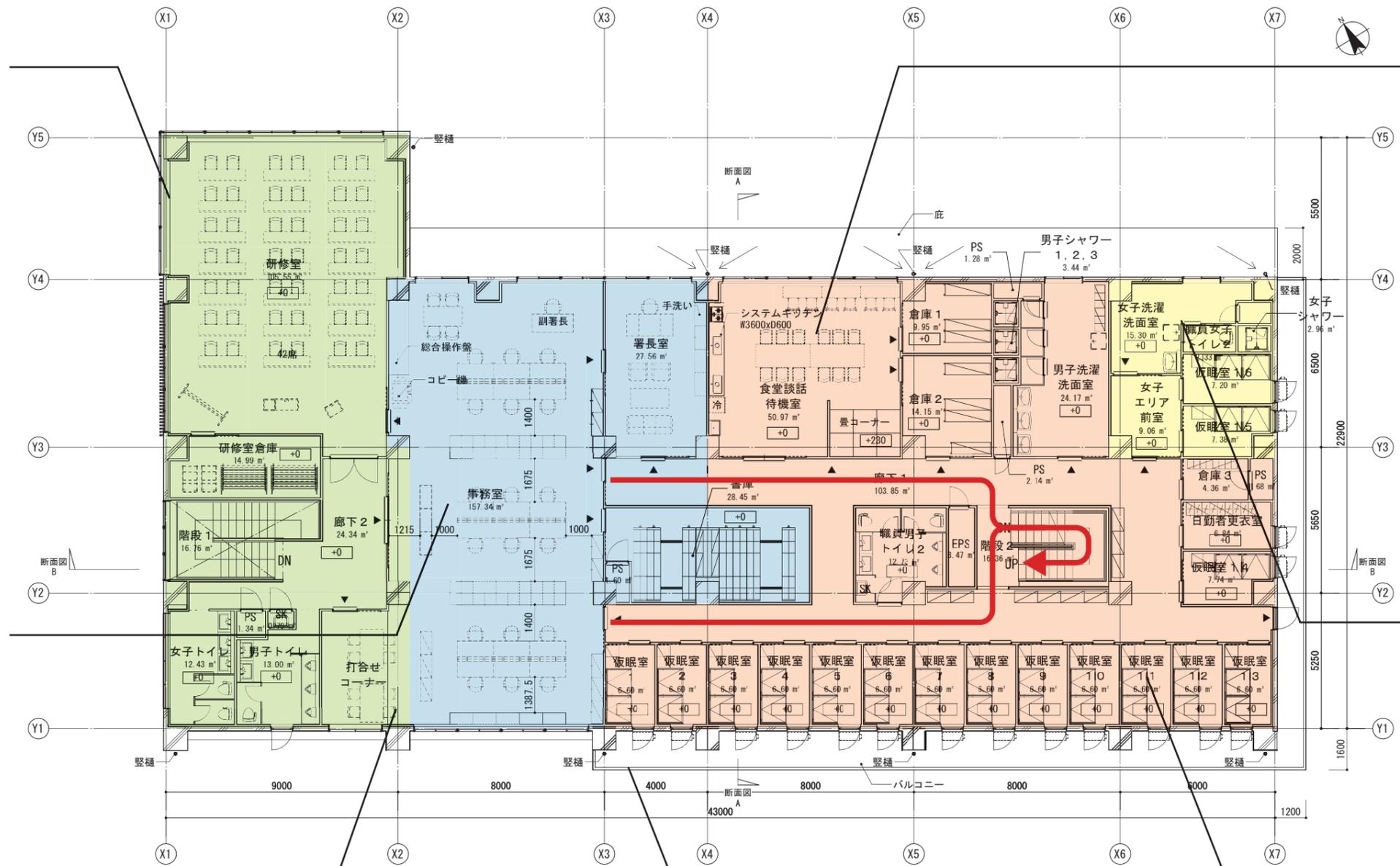
事務室は北側訓練スペースへの見渡しと、南面の自然採光を両立させる配置とします。

女子の仮眠室や洗濯室、シャワー、トイレは一カ所にまとめ、女子専用エリアとして整備し、快適性に配慮します。

事務室とエリア分けを行った打合せコーナーは利用者のプライバシー配慮と職員の利便性を両立します。

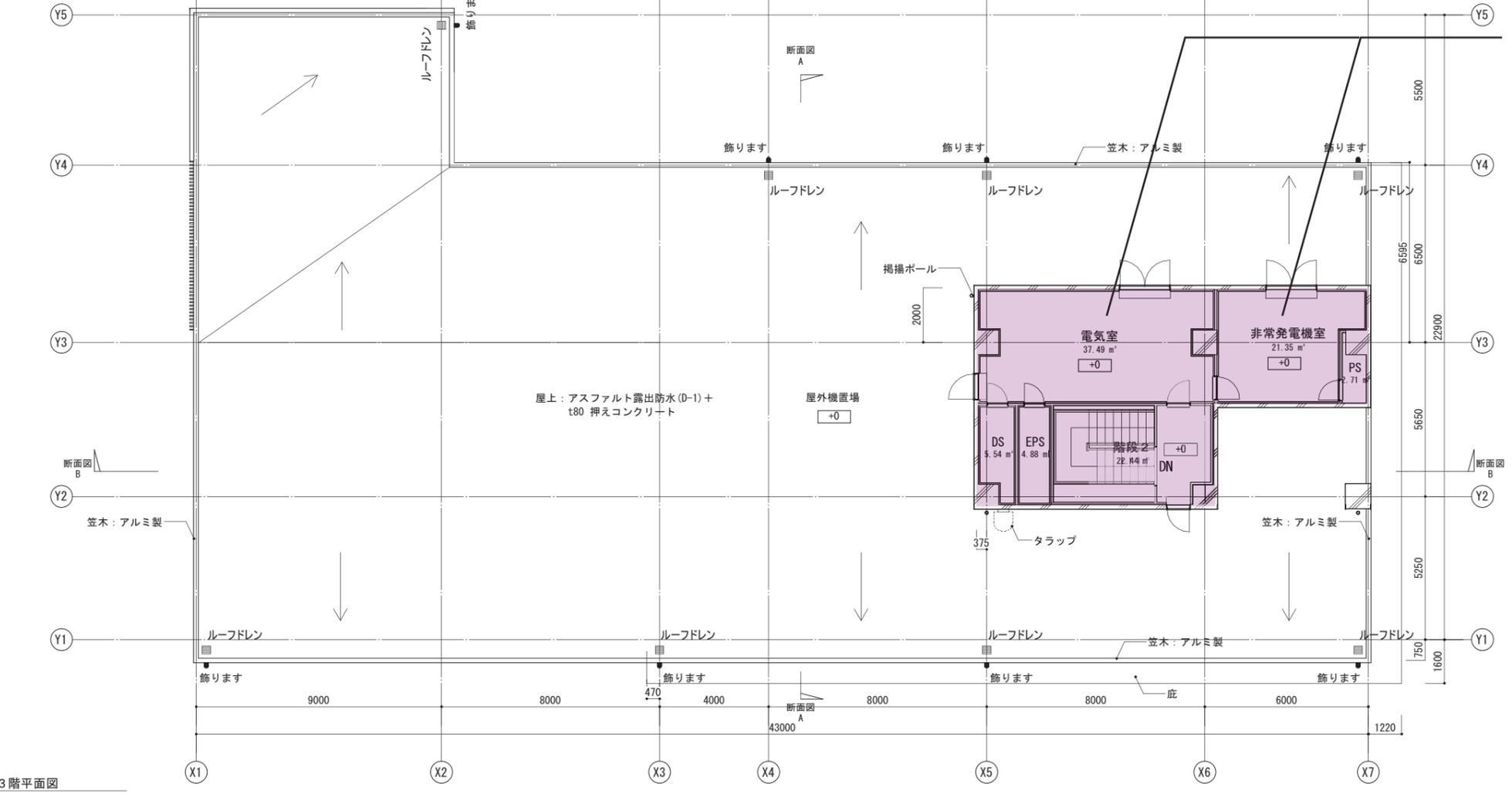
南、北面にバルコニーを設置し、機器の維持管理に配慮します。

感染症対策とプライバシーの確保を両立できる、全室完全個室型を採用します。



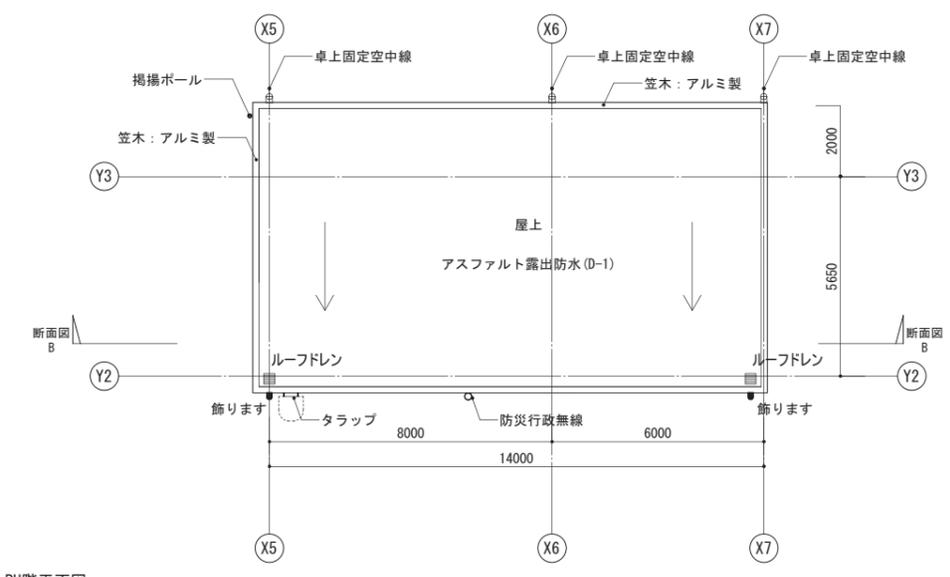
3階・PH階平面図 (1:200)

- : 出動エリア
- : 執務エリア
- : 居住エリア
- : 来客エリア
- : 設備エリア
- : 女子専用エリア
- ← : 出動動線



3階平面図

電気室、非常発電機室は3階に設け、災害時に被害を受けない配置とし、機能維持や早期復旧に配慮します。



PH階平面図



